



大阪府

大阪教育大学附属
天王寺小学校

3年 脇田 良太郎 さん

作品の解説文

「KinoKo Kitchen house」

ぼくの家料理は、「きのこ」をよく使います。なぜかというと、栄養価が高く、いろんな料理に合わせて楽しめるからです。

「きのこ」について調べたら、食べるだけではなく、きのこの菌糸体を使って、建築を建てたり、肥料になったり、エネルギーに変化することを知りました。そんなきのこを使った地球にやさしく、みんなが元気で笑顔になれるキッチンを考えました。

- ①きのこハウス。菌糸体で作る。強度は木材なみ！土にかえることができる。
- ②調理中に出た野菜くずをたいひマシンに入れる→菌糸体が分解→たいひになる→家庭菜園へ
- ③キッチンの一部にきのこ農園があり、毎日新せんなきのこを収穫できる。
- ④太陽光パネル・菌糸体を使ったバイオ電地で家電を動かす。



太陽光
パネル

Kinoko
Kitchen
house

えんどう
まんぢん
たけ



バイオ 電池

お手伝い
ロボット

しお

たいてい
作り
マシン

えいほう
まんぢん
たいてい